

はじめに

我が国の消防は昭和23年の発足以来、火災の予防・消火、救急、救助及び防災など広範な分野で強化されているところであり、本県においても、消防体制は関係機関及び関係各位の熱意と努力により年々充実・強化されてきているところです。

しかしながら、近年、東日本大震災という未曾有の大災害をはじめ、地震、台風、局地的な豪雨、豪雪、火山の噴火など、災害の態様はますます複雑多様化、大規模化の傾向にあり、また、南海トラフ地震や首都直下型地震などの大規模地震の発生も危惧されているところであり、地域の高齢化が進む中で消防行政をとりまく環境は一段と厳しさを増しています。

このような状況の中で、本県においては、「安心・安全な社会の形成と県土づくり」を目指し、火災予防の推進、救急業務の高度化推進、離島急患搬送体制の充実及び消防団の充実強化等を図り、関係機関・団体、住民、事業所及び消防機関が一体となった地域防災力の充実強化や、消防防災体制の確立に努めているところです。

また、市町村においては、厳しい財政状況の中ではありますが、消防施設や職員等消防力の充実に向けて着実に取り組みが進められているところです。

本書は、関係機関の協力を得て、本県の消防体制をはじめ、火災、予防、救急、救助業務の状況等を取りまとめたものです。今後の消防防災行政を推進する上で広く活用いただければ幸いに存じます。

平成27年3月

鹿児島県危機管理局長 屋島 明人